

極細紙バンドを扱うときのちょっとしたコツ

☆巻きからひもを引き出す

巻の内側からひもを引き出します。外側の透明ラッピングは外れないようにテープなどで止めておきます。



外側の透明ラッピングは外さない



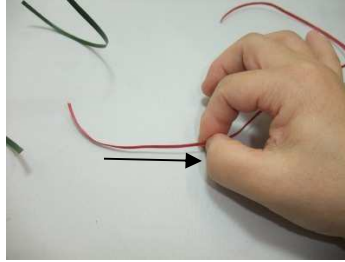
巻の内側からひもを引き出す

☆癖をとる

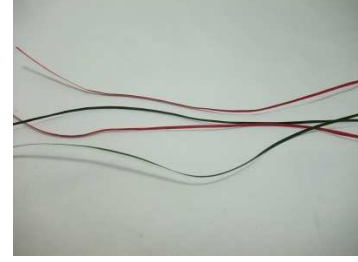
細くて薄いバンドなので、巻から取り出すと巻き癖がついています。爪ではさみ、スーッとしごくと癖が直り、作業がしやすくなります。



丸まっているひも



爪でしごく



癖が取れる

紙バンドと同様に、ほどいて再度使うことができます。ほどいた後、ひもは写真のように編み癖がついていますが、巻き癖を直すのと同じに、爪でしごくときれいにくせが取れます。



四つだけ編みをほどいたひも



爪でしごくときれいにくせが取れる

☆割け目の修繕

極限に薄く作っているバンドなので、時に割けが生じる場合があります。

割けを見つけたら、編んでいる途中に割けてしまった場合は、広がらないうちに、表面にボンドをつけ、軽くのばして修繕します。



バンドに小さい割け目



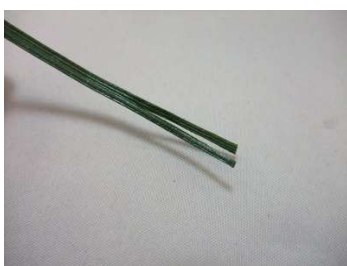
表面に少量のボンドをつけ、割けた部分をコーティングするように、指で軽くのばす



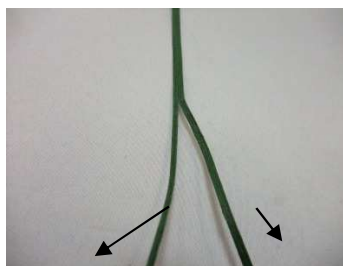
ボンドが乾いたら作業再開

☆ひもを割く

紙バンドと同様に、割いて使うことができます。切り込みを入れたら、PPバンドは使わずに、手で左右に開くようにすると割くことができます。1本の糸が細いため、うまく切り込みが入らず、希望の本数に割けない場合があります。割り始めは1cm位ゆっくり割いて、上手く割けているか確認してから残り部分を割いてください。



ハサミで切り込みを入れる



手でゆっくり割っていく



6本幅が3本幅2本により繊細な作品に挑戦